

和田由香

目 的

国連海洋法条約に基づき、公海を回遊しているマグロ類及びサメ類の科学的データを補完するための調査を行った。なお、本調査は、水産庁の国際漁業資源評価調査・情報提供委託事業の一環として実施した。

材料と方法

1. クロマグロ

(1) 漁獲状況調査

2017年1月～12月に調査対象とした図1に示す8地区にある漁業協同組合等（新深浦町漁業協同組合岩崎支所、深浦漁業協同組合、小泊漁業協同組合、三厩漁業協同組合、大間漁業協同組合、尻労漁業協同組合、六ヶ所村海水漁業協同組合、八戸みなと漁業協同組合及び（株）八戸魚市場）から水揚げ伝票を入手し、月別、漁法別、銘柄別に漁獲量を取りまとめた。

(2) 生物測定調査

2017年1月～12月に調査対象とした図1に示す深浦漁業協同組合、三厩漁業協同組合において、漁協職員が測定した尾叉長、体重データを入手し、月別にとりまとめた。また、大間漁業協同組合において、（国研）水産研究・教育機構国際水産資源研究所が測定した尾叉長、体重データを入手した。なお、尾叉長の測定は、深浦では3,427個体中192個体、三厩では漁獲された691個体中639個体、大間では3,300個体中2,459個体について行った。

2. サメ類

2017年1月～12月に調査対象とした八戸地区（図1）にある八戸みなと漁業協同組合及び（株）八戸魚市場の水揚げ伝票から、月別、漁法別、銘柄別の漁獲量を取りまとめた。

結 果

1. クロマグロ

(1) 漁獲状況調査

調査対象8地区全体の漁獲量は、538トンと前年(400トン)の135%であった。海域別にみると、日本海(岩崎、深浦、小泊)では、168トンと前年(197トン)の85%、津軽海峡(三厩、大間)では、318トンと前年(185トン)の172%、太平洋(尻労、六ヶ所、八戸)では、53トンと前年(19トン)の279%であった(図2、表1)。日本海においては、小型魚の漁獲規制の取り組みと大型魚の不漁により、前年を下回る漁獲量となった。

定置網を主体とした日本海の深浦、岩崎の漁

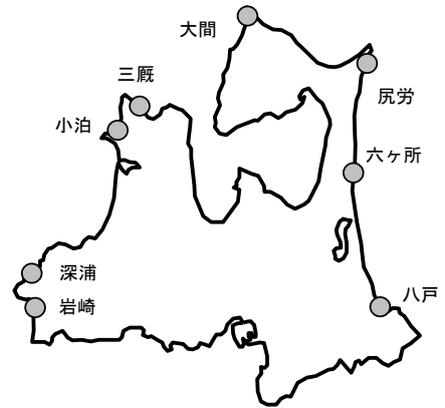


図1. 調査地点

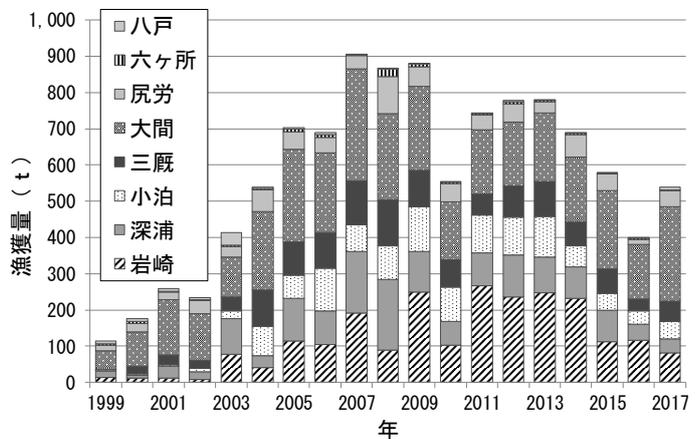


図2. 地区別クロマグロ年間漁獲量の推移

獲のピークは6月～7月にみられた。釣り、延縄を主体とした小泊では7月に、津軽海峡の三厩、大間では8月～12月に多く漁獲された。定置網主体の太平洋の尻労では、5月に漁獲のピークがみられた(図3、表2)。

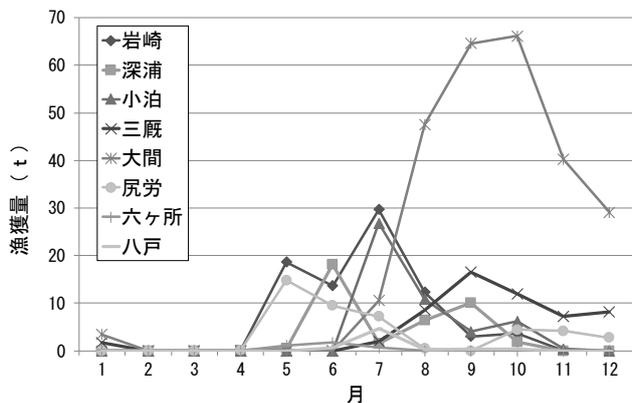


図3. 2017年の青森県沿岸8地区におけるクロマグロ漁獲量の月別推移

表1 地区別クロマグロ年間漁獲量の推移

西暦	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
新深浦町漁協岩崎支所	13.6	11.6	11.9	7.9	78.3	40.7	114.9	104.4	190.7	89.6	249.9	102.0	266.5	236.3	247.3	232.9	111.9	116.3	81.0
深浦漁協	18.3	9.1	32.7	22.2	98.1	32.3	117.5	93.0	170.1	194.9	111.0	66.3	91.1	116.1	97.9	85.3	87.3	45.3	38.4
小泊漁協	2.8	3.7	3.8	8.7	20.5	81.8	62.6	118.0	74.8	93.3	124.5	93.9	104.3	104.5	113.5	57.8	46.6	35.1	48.2
三厩村漁協	0.2	20.4	27.3	21.5	39.8	99.6	93.6	97.1	120.0	126.5	99.6	76.2	57.9	86.5	95.9	66.6	67.4	33.9	56.1
大間漁協	52.3	95.0	153.3	130.2	109.3	217.2	254.2	221.7	309.3	237.9	231.7	159.9	177.7	175.0	188.0	178.4	216.0	151.0	261.5
尻労漁協	16.0	22.7	20.3	35.4	28.8	60.5	48.8	42.6	36.3	101.4	54.5	50.7	40.1	50.5	31.7	62.5	45.4	13.3	43.3
六ヶ所村海水漁協	2.8	6.1	2.8	2.9	4.0	3.8	6.6	7.0	2.8	21.2	6.3	2.8	4.4	6.2	2.9	3.3	2.5	4.0	3.7
八戸市	8.3	6.6	7.9	4.9	34.0	2.1	4.7	4.7	2.2	2.0	3.5	1.5	1.5	2.3	1.7	3.0	3.2	1.4	6.0

表2 2017年の青森県沿岸8地区におけるクロマグロ漁獲量の月別推移

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
新深浦町漁協岩崎支所	70	0	0	0	18,613	13,676	29,672	12,286	3,004	3,599	76	0
深浦漁協	0	0	0	30	456	18,160	1,533	6,350	9,990	1,870	8	0
小泊漁協	0	0	0	0	0	26,803	10,816	4,025	6,207	374	0	0
三厩村漁協	1,651	0	0	0	0	1,912	8,617	16,530	11,956	7,274	8,145	0
大間漁協	3,387	0	0	0	0	10,564	47,540	64,616	66,113	40,223	29,088	0
尻労漁協	0	0	0	76	14,800	9,464	7,164	436	0	4,454	4,145	2,723
六ヶ所村海水漁協	189	0	0	0	1,124	1,707	634	0	0	0	0	0
八戸市	0	0	0	0	12	568	4,613	154	312	384	0	0

(2) 生物測定調査

深浦、三厩、大間におけるクロマグロの尾叉長組成を図4に示した。深浦では60 cm～80 cmが主体であった。三厩では70 cm～200 cmのものが漁獲されており、全体としては100 cm～120 cmと180 cm～200 cmにモードが見られた。大間では90 cm～200 cmのものが漁獲されており、全体としては180 cm～190 cmにモードが見られた。

深浦における魚体測定は、定置網へのクロマグロの入網が集中した場合には全体を網羅的に測定することは困難となり、2017年の測定個体数は3,427個体中192個体と、全体の僅か5.6%であった。このため、漁獲物の体長組成を的確に表していない可能性が考えられることから、今後は調査結果がより充実している体重データを用いて体長組成を把握することを検討したい。

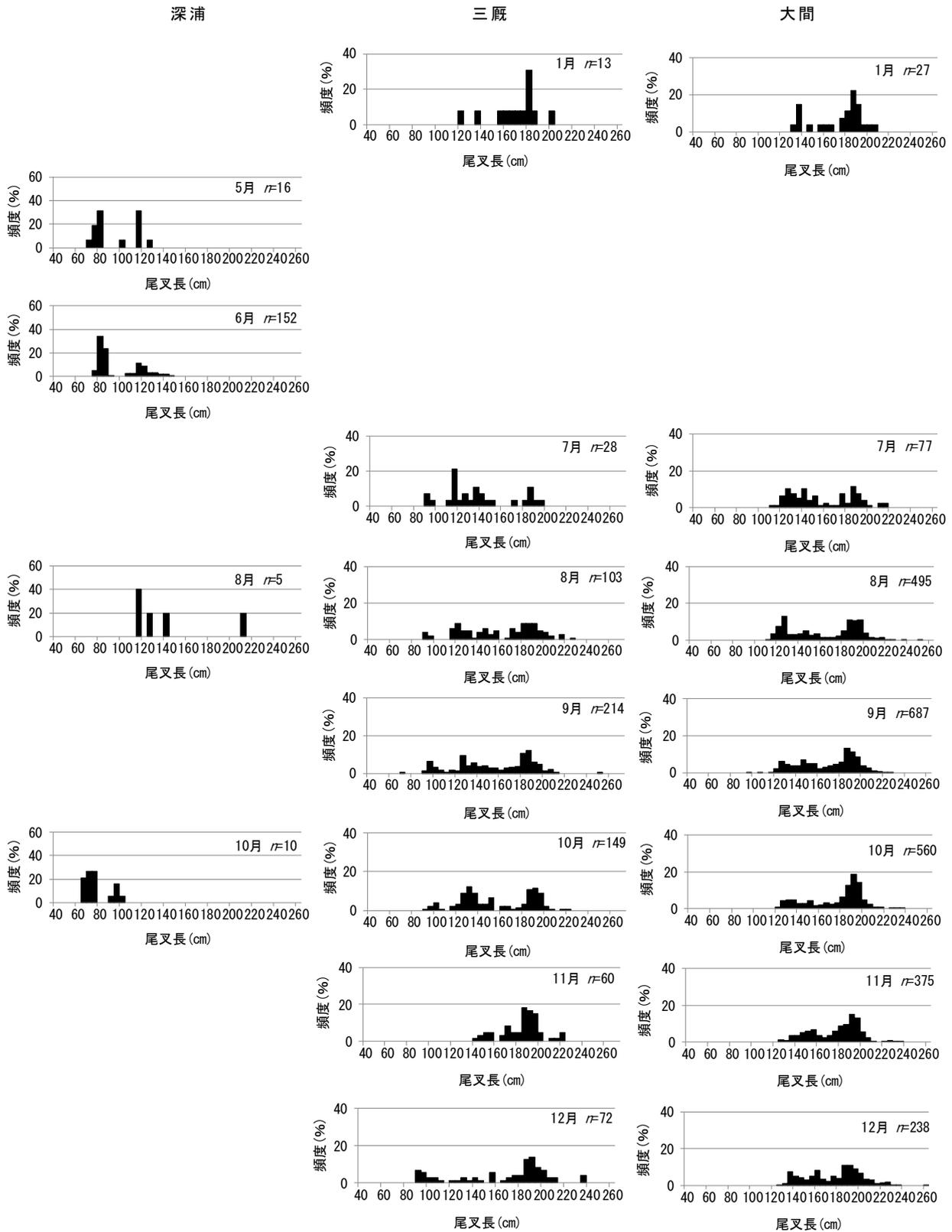


図 4. 2017 年の深浦、三厩、大間に水揚げされたクロマグロの尾叉長組成

2. サメ類

八戸港に水揚げされたサメ類の魚種別、漁法別漁獲量を表 3、4 に示した。2017 年においてはアブラツノザメが全漁獲量の 99 %を占め、そのほかネズミザメ等が少量水揚げされた（表 3）。また、主な漁法は底びき網で、全体の 95%を占めた（表 4）。八戸港に水揚げされたサメ類の漁獲量は、1995 年から 1999 年は 400 トン～500 トン台であったが、2002 年から 2006 年にかけて 100 トン～200 トン台と低迷した。その後漁獲量は 2007 年に増加し、以降は 300 トン～600 トン台で推移した。2017 年の漁獲量は 558 トンと前年（616 トン）の 91%で、1994 年以降では 4 番目に多かった（図 5）。月別では、漁獲量は 1 月～3 月と 5 月～6 月に多く、2017 年は 2 月に 134 トンと最も多く漁獲された（図 6）。

表 3. 八戸港の魚種別漁獲量

	アブラツノザメ (t)	その他サメ (t)	合計 (t)	アブラツノザメ (%)
2005年	216	5	221	97.5
2006年	200	6	207	97.0
2007年	501	10	511	98.0
2008年	460	4	464	99.1
2009年	616	5	621	99.3
2010年	351	9	360	97.6
2011年	476	3	479	99.4
2012年	341	4	345	98.7
2013年	400	3	403	99.4
2014年	294	6	300	98.1
2015年	326	5	331	98.6
2016年	612	4	616	99.4
2017年	555	3	558	99.5

表 4. 八戸港の漁法別漁獲量

	底びき網 (t)	その他漁業 (t)	合計 (t)	底びき網 (%)
2005年	218	3	221	98.8
2006年	202	4	207	98.0
2007年	488	23	511	95.4
2008年	453	12	464	97.4
2009年	611	10	621	98.4
2010年	353	7	360	98.0
2011年	452	27	479	94.4
2012年	328	17	345	95.0
2013年	327	76	403	81.1
2014年	248	52	300	82.7
2015年	316	15	331	95.5
2016年	595	20	615	96.7
2017年	528	30	558	94.6

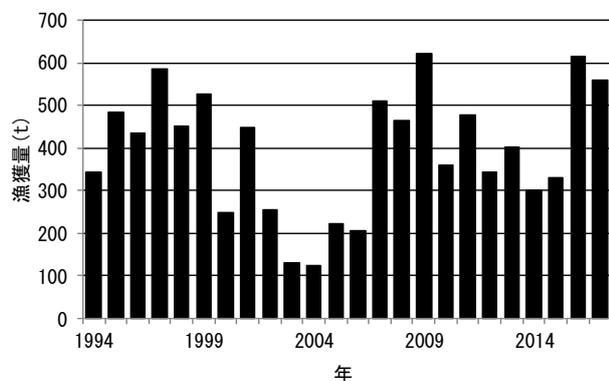


図 5. 八戸で漁獲されたサメ類年間漁獲量の推移

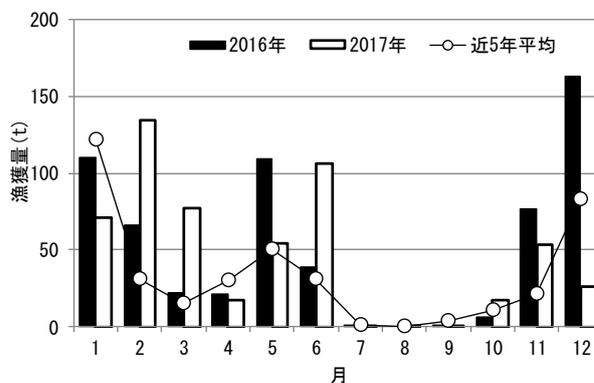


図 6. 八戸のサメ類月別漁獲量の推移